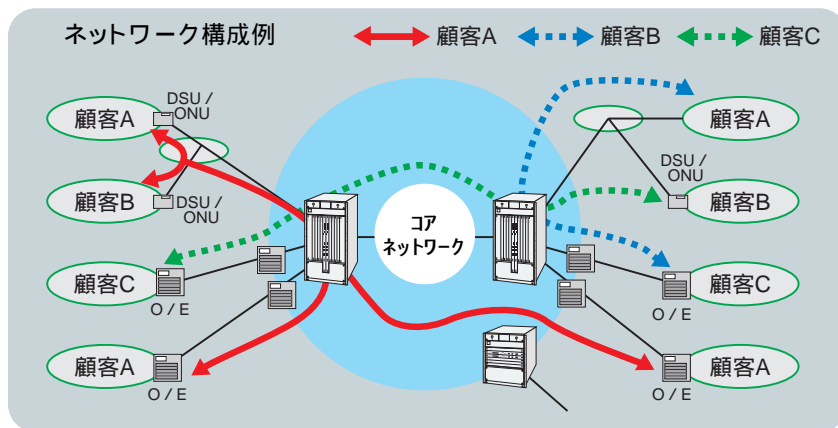


ネットワークサービス管理システム Proactnes / SN

Proactnes / SNは、IPネットワーク上で提供されるさまざまなネットワークサービス (VPN、FTTH、VoIP など) の運用管理を強力にサポートする「ネットワークサービス管理システム」です。ネットワークを物理構成ベースで管理することにより、VLANやMPLSといった仮想パスの構成管理、サービスやエンドユーザーごとの運用状況管理や障害影響の把握を可能にします。

Proactnes / SNは、IPネットワークでさまざまなサービスを提供することが必要な通信事業者やサービスプロバイダー、社会システムのネットワーク運用管理業務の容易化・効率化とサービスレベルの向上を実現します。



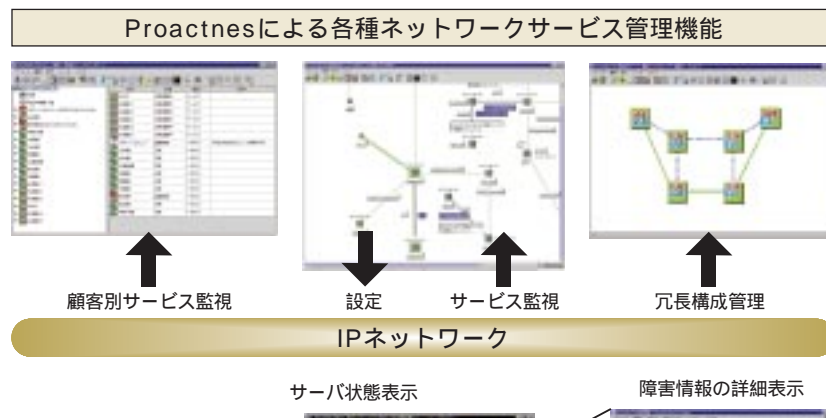
強力な構成管理機能 / 障害管理機能

- ネットワークの物理構成を管理することが可能なため、IPネットワークの構成管理・障害管理を強力にサポートします。
- 物理ネットワークポロジーマップの提供
ネットワークの実物理構成に基づいたマップを提供します。
- 冗長構成管理
スパンニングツリーやMSTP、HSRP、ESRPなどの冗長プロトコルで構成されたネットワークの管理が可能です。
- 障害箇所の迅速な把握
障害が発生した箇所が一目で把握できます。



各種ネットワークサービス管理機能

- IPネットワーク上で提供される各種ネットワークサービスを管理する豊富な機能を提供し、サービスの運用管理を強力にサポートします。
- VLAN / MPLS構成の一元管理
ネットワーク上のVLANやMPLSなどの仮想パスの構成情報を一元管理。VLANやMPLSの各種方式に対応しています(※)。
- 各VPNの運用状況・障害情報表示
トラフィックなどの運用状況や障害発生状況を、VPNごとのビューにより管理。エンドユーザーや代理店にWebベースで情報を公開することもできます。
- 各VPNとエンドユーザーの対応付け管理
エンドユーザーからの運用状況の問い合わせや障害のクレームに対して迅速に対応することができます。
- GUI / 一括によるVPNのプロビジョニング
ネットワーク上のVPNのプロビジョニング(経路設定・変更・削除など)を構成管理マップ上からGUIにより実行。また一括で設定することもできます。
- マルチプレビューの提供
IPネットワークの複数のサービス / エンドユーザー管理を強力にサポートするマルチプレビューを提供します。トラフィックなどの運用状況や障害の影響範囲をサービスごと / エンドユーザーごとに把握することができます。



- () 各種VPN方式に対応
 - ・VLAN
 - ・MPLS
 - ・VLAN VPN mapped MPLS
 - ・Ether over MPLS
 - ・MPLS TE

Syslog監視機能

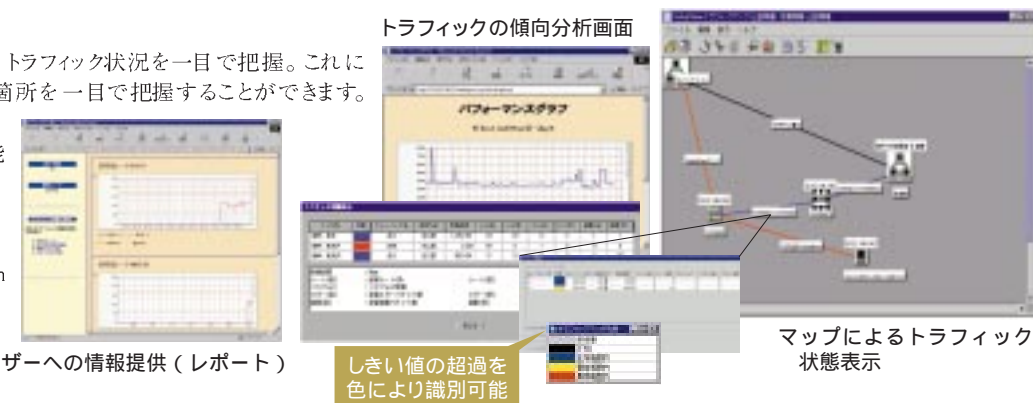
UNIXサーバやLinuxサーバにおけるディスク障害やディスクフル、プロセス状態など、SNMP通信を用いて監視できないシステム障害についてはSyslogを利用して検出します。また、障害発生時だけでなく、特別に監視したイベント(例えば、アプリケーションのエラーなど)を、Proactnesへ通知するよう設定しておくことで、GUI上からそのイベントの発生や詳細を確認することができます。

この機能により、ネットワークサービスに不可欠なサーバ(DNS、RADIUS、SIP、IMなど)を含めた一元管理を実現します。

トラフィック管理と情報公開

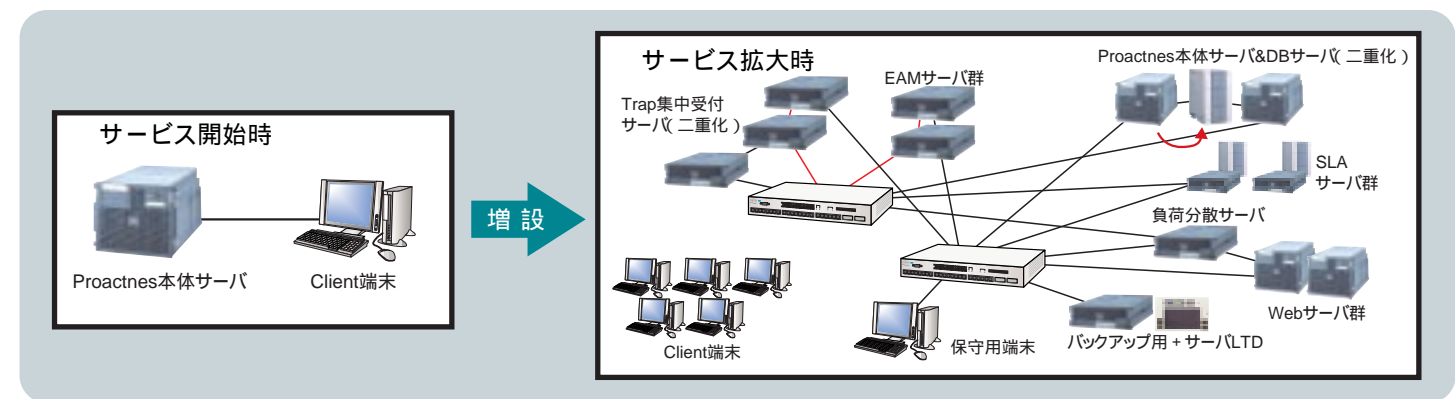
ネットワークポロジーマップ上において、トラフィック状況を一目で把握。これによりネットワーク全体の性能のボトルネック箇所を一目で把握することができます。エンドユーザーに対して利用中のトラフィック状況をHTML化して提供することも可能です。

また、プロトコルごとやサービスごとのトラフィックの傾向分析を行うために必要なソフトプローブやハードプローブ(GeoStream NetWatcher)も提供しています。



スケーラビリティ

ネットワークやサービスの規模に応じた段階的な増設が可能です。また、運用の高信頼化のためにサーバの冗長構成化、地域や本社支社単位のサーバの配置が可能です。



動作環境

サーバ	クライアント
<ul style="list-style-type: none"> OS : Solaris8 CPU : UltraSPARC e 500MHz以上 メモリ : 512MB以上 [1GB以上推奨] HD : 18.2GB以上 	<ul style="list-style-type: none"> OS : Windows2000 Professional SP2以上 CPU : Pentium 600MHz以上 (Pentium4推奨) メモリ : 512MB以上 HD : 4GB以上 必須ソフト : Internet Explorer5.5 SP2

最小構成の場合に動作可能な値です。監視対象のネットワーク規模およびオプション機能使用の有無により上記スペックでは動作保証できない場合がございます。

GeoStream R900 IPスイッチングノード機器管理システム GeoStream Element Manager

GeoStream Element Managerは、キャリア / ISP / 社会インフラに適用されるGeoStream R900 IPスイッチングノードの機器管理システムです。GeoStream Element Managerは、トポロジー管理、装置状態管理、障害 / 性能管理など、GeoStream R900 IPスイッチングノードを詳細に管理することができます。ネットワーク運用者はGeoStream Element Managerを利用することで、GeoStream R900で構築されたネットワークの効率的な運用管理を実現できます。

構成管理 / 運用支援

- 背景図 / 装置 / リンク / 装置グループおよびカード実装状態の表示が可能
- コンフィグ情報の自動バックアップ / 表示が可能
- 装置のソフト登録 / ダウンロード / 削除 / 版数表示などが可能
- カタログスケジュール実行が可能

障害管理

- アラーム発生、復旧の厳密かつリアルタイムな監視が可能
- E-mailによるアラーム通知が可能

性能管理機能

- トラフィック / 品質データの収集 / 表示(グラフ / 表形式)が可能
- 収集したデータをCSV形式で出力することが可能



機器詳細管理画面

ネットワークの最適化・安定稼働を実現するネットワーク基盤管理 Systemwalker Network Manager

製品情報 : <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/netmgr/index.html>

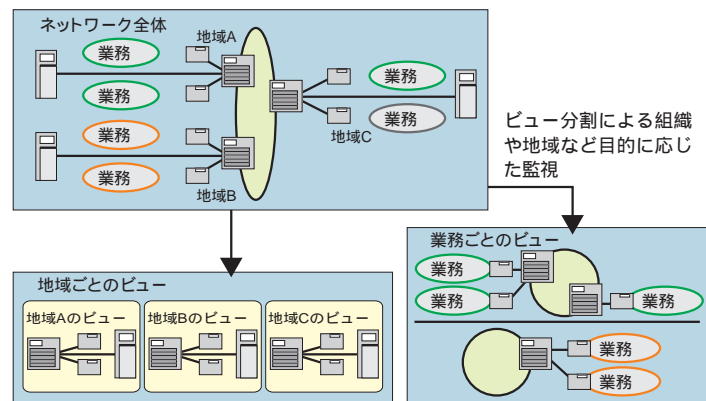
Systemwalker Network Managerは、企業情報システムの大規模化・複雑化に伴って顕在する各種の課題解決の手段として、サーバやネットワーク機器で構成されるITシステムにおけるネットワークの「安定した通信」、「業務の連続性」、「運用管理の簡易化・効率化」を実現するための製品です。

ネットワークトポロジーの的確な把握と可視化

トポロジー収集により、システムを構築するルータ、スイッチ、サーバなどのネットワークの物理的な接続状態を把握し、グラフィカルに監視します。定期的なトポロジー収集の実行により、監視対象ネットワークの構成変更をタイムリーに検出できます。スパニングツリーなどの冗長構成を用いたネットワークでも、回線障害および閉塞状態を画面上で直感的に判断できます。

目的別の監視ビューによる管理

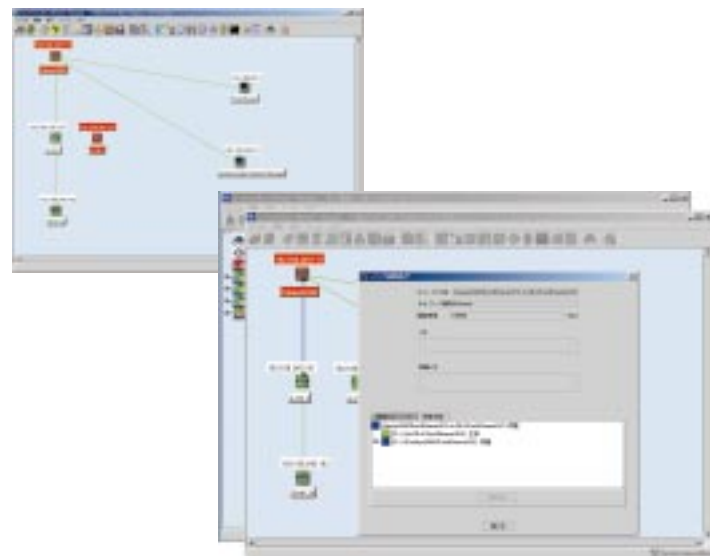
地域ごと、建物ごと、部署ごと、業務ごとなどユーザーが自由に監視ビューを定義することができます。ネットワーク上に障害が発生した場合、該当障害がどの監視ビュー上の管理対象に影響するかを自動的に判別、表示されるため、障害の影響範囲の把握が容易にできます。



障害箇所の迅速な特定

ネットワークノード障害、ポート障害、リンク障害や、VLAN障害、IP通信異常、アプリケーション通信異常などをトポロジーマップ上で統合して管理可能です。発生した障害による業務への影響範囲をマップ上で一目で確認でき、障害検知から復旧までにかかる手間と時間を軽減します。アプリケーションの通信異常は、実際に動作しているサーバ内での常時計測・分析に基づき検出します。* 検出した異常に基づき、問題セグメントをネットワークから切り離すなどのネットワーク制御アクションが可能です。

Systemwalker Resource Coordinatorと連携した機能です。



ネットワークプロビジョニング

トポロジーマップ上でVLAN経路となるリンクをマウスクリックするだけで、VLAN経路表示、経路設定・変更・削除が可能です。VLAN-IDごとのVLANの経路と構成機器が、マップ上で一目瞭然です。

ネットワークウイルスやパケットループによるトラフィック急増を検知し、ネットワーク全体に波及する問題の被疑セグメントを切り離すことができます。

ネットワーク稼働状況の的確な把握

ネットワークトラフィックやセンター・サイト間のIPレスポンス時間など、ネットワークの稼働状況を監視、情報収集、蓄積できます。レスポンス時間などあらかじめ設定されたしきい値を越えた場合は、アラームを発生させて異常を知らせます。収集した情報は分析表示ことができ、サーバ・ストレージと合わせて、ネットワークのサービス品質を一元的に把握することができます。*

Systemwalker Service Quality Coordinatorと連携した機能です。



スケーラビリティ（機能・規模）

管理対象数や稼働監視項目が多い場合、監視負荷を分散するための監視サーバを設けることで、さまざまなネットワーク環境に対応したきめ細かな監視を実現します。監視サーバは並列配置することが可能なため、ネットワーク規模、サービスの拡張が予想されるネットワークでも安心して導入できます。

マルチベンダー対応

富士通、Cisco、Extreme製ネットワーク機器をベンダーの違いを意識することなく統一した操作で管理できます。

動作環境

Solaris OS 版 【OS】		
運用管理サーバ	日本語Solaris 9 OS 日本語Solaris 8 OS	
運用管理クライアント	Windows * XP Professional Windows * 2000 Professional	
運用管理サーバ(エージェント)	日本語Solaris 9 OS 日本語Solaris 8 OS	
Linux 版 【OS】		
運用管理サーバ	Red Hat Enterprise Linux AS v.3 Red Hat Enterprise Linux ES v.3	
運用管理クライアント	Windows * XP Professional Windows * 2000 Professional	SP1、SP2 SP4以降
運用管理サーバ(エージェント)	Red Hat Enterprise Linux AS v.3 Red Hat Enterprise Linux ES v.3	

業務の安定稼働を効率よく実現する統合運用管理 Systemwalker Centric Manager

製品情報 : <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/centricmgr/index.html>

Systemwalker Centric Managerは、業務運用管理において必要不可欠な機能を提供します。ソフトウェア資源の配付、システムやネットワークの集中監視、リモートからのトラブル復旧などの機能により、運用コスト(TCO)を削減し、システムの安定稼働を実現します。また、Systemwalker Centric Managerは、ワークグループから超大規模な環境まで、きめ細かに対応しています。

業務のライフサイクルをトータルに管理

企業システムを適切に維持・管理する上で必要となるソリューションを提供します。デプロイメント、モニタリング、リカバリー、アセスメントといった企業システムを維持していくためのライフサイクルに従って、ビジネス環境を統合管理し一連の運用管理の操作をシームレスに行えます。

また、監視は、監視対象のサーバや機器をツリー構造で管理し、分かりやすいアイコンで表現しているため大規模なシステムでも容易に監視/操作ができます。



デプロイメント[導入/設定]

サーバまたはクライアントで使用するアプリケーションやデータなどの資源を一元管理し、対象のサーバやクライアントにオンラインで配付することができます。

また、サーバ/クライアントの空きディスク容量や搭載メモリ量などのハードウェア情報や、すでにインストールされているソフトウェアの情報を、インベントリ情報として収集し参照することができます。

モニタリング[監視]

ネットワークやシステム、アプリケーションの稼働状況、障害発生、性能状況をGUIを使用した画面で集中的に監視できます。イベントログ・SNMPトラップ・指定のログファイルなどに出力されたメッセージを運用管理サーバで集中管理します。

異常が発生した場合、重要度に応じて音声でも通知したり、夜間発生したトラブルはメールで担当者へ通知するなど、メッセージの内容や管理者の行動パターンに合わせて、通知方法を複数組み合わせることができます。

【ノード状態の表示/監視】

- 各ノードの稼働/停止などの状態を監視画面に色で表示
- 一定間隔ごとのポーリングにより監視
- 各ノードの状態変化(停止状態への遷移/起動状態への遷移)を集中監視
- IPv6に対応したノードも監視

【アプリケーションの稼働状態表示/監視】

- アプリケーション(常駐プロセス、Interstageの業務(EJB、CORBA、Servletなど))の稼働/停止状態を監視画面に色で表示
- 一定間隔ごとのポーリングにより監視
- 設定した稼働条件(ポリシー)どおりに稼働していない場合に管理者に通知

リカバリー[復旧]

リモートから診断したり、蓄積したノウハウを利用したオペレータ操作のナビゲート機能により、運用中にネットワークやシステムで発生するさまざまな障害の復旧作業を効率的に行うことができます。

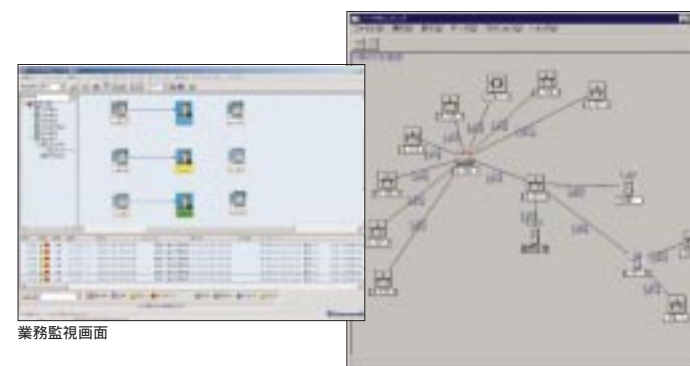
あらかじめ対処コマンドを登録した自動対処、遠隔地のサーバへのコマンド発行による対処、さらには管理者のパソコンから遠隔地のパソコンへのリモートコントロールによる対処など、復旧時間の短縮化や効率化が図れます。

アセスメント[評価]

収集/蓄積された性能情報や障害発生情報を基に現状分析/評価が可能です。システムやネットワーク、業務に対して無駄なリソースを減らし、効率的な設備投資、適切な増設/移設計画、潜在的な問題の早期発見などにフィードバックが可能です。

【ネットワークの評価】

サーバ、ネットワーク機器、RMONなどから収集/蓄積されたネットワーク性能のレポートを基に、ネットワークの分析/評価が可能です。



「ノード中心マップ」による回線使用率の表示

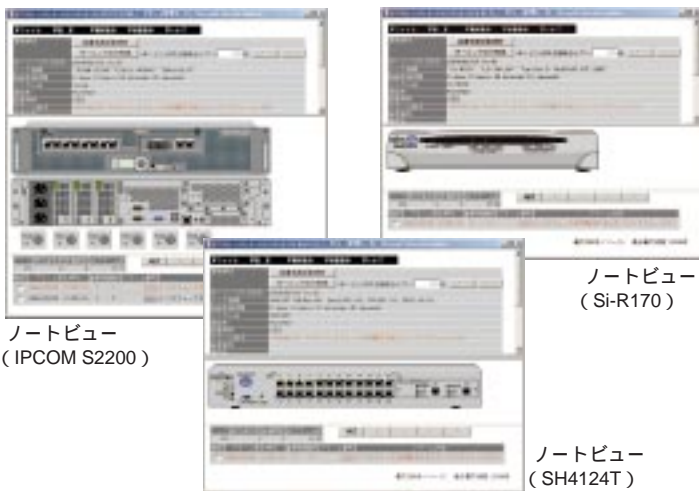
富士通製ネットワーク機器をオールインワンで管理 Systemwalker Network Assist

製品情報 : http://systemwalker.fujitsu.com/jp/net_assist/index.html

Systemwalker Network Assistは、富士通製ネットワーク機器の管理・監視を行うWebベースの管理ソフトウェアです。富士通製ネットワーク機器の構成情報や状態監視、障害監視、統計情報などを任意のクライアントからWebブラウザを使用して把握することができます。

装置ビューによる詳細な監視

Webブラウザで装置の状態を忠実に再現したイメージを表示して、装置やインターフェースの状態をグラフィカルに把握できます。



ノートビュー (IPCOM S2200)

ノートビュー (Si-R170)

ノートビュー (SH4124T)

富士通製機器を網羅

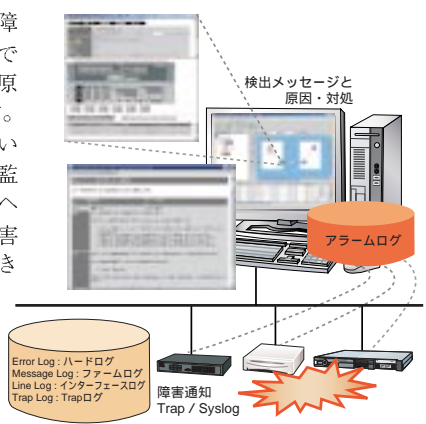
GS/PRIMEFORCEシリーズのLANアダプタ (ONAなど) から、富士通製ネットワーク機器 (ネットワークサーバ IPCOMシリーズ、IPアクセスルータSi-Rシリーズ、スイッチングハブ SHシリーズなど)、FDDIネットワークまでの集中監視を一台のサーバで実現します。(2004年11月時点で160機種におよぶ富士通製ネットワーク機器をサポート) Systemwalker技術情報ホームページより追加モジュールをダウンロードし、監視サーバへ組み込むだけで、最新機器の監視が即時可能です。バージョンアップ製品を購入しインストールする費用や手間が不要です。

装置のシスログの収集・表示と障害監視

SNMPトラップに加え、装置のSyslogを受信しリアルタイムに表示し、監視対象機器の障害原因を、より詳細に絞り込めます。

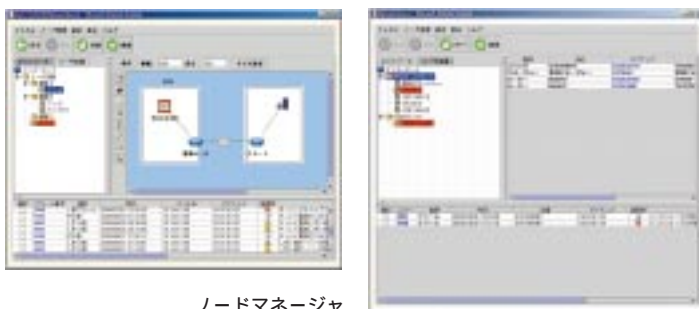
受信したSyslogにより、障害発生時点のアラームだけでなく、過去に遡っての根本原因の追求や解析が行えます。

また各種統計情報のしきい値設定により、きめ細かな監視を実現します。アラームヘルプを利用することで、障害原因・対策を的確に把握できます。



ネットワーク機器のグルーピング表示

監視対象機器リストを、お客様自身で自由にグルーピングして表示することが可能です。サブネットやフロアといった単位で監視対象機器をグルーピングできるので、装置の障害がどのフロア、どのサブネットで発生したのかなどさまざまな切り口による監視が可能になり、監視作業の効率化が向上します。



ノードマネージャ

動作環境

Windows 版	
【OS】	
監視サーバ	Windows® NT Server 4.0 Service Pack 6a以降 Windows® 2000 Server Service Pack 4以降 Windows® Server 2003, Standard Edition
監視クライアント	Windows® XP Professional [推奨] Windows® 2000 Professional [推奨] Windows® NT Workstation 4.0
【必須ソフトウェア】	
監視サーバ	Internet Information Server 4.0 / 5.0 / 6.0 (注2)
監視クライアント	サポートするWebブラウザは以下のとおりです。(注1) Internet Explorer 5.5 SP2 / 6.0以降 Netscape Navigator 6.2x / 7.1

Solaris OS 版	
【OS】	
監視サーバ	日本語Solaris 9 OS 日本語Solaris 8 OS
監視クライアント	Windows® XP Professional [推奨] Windows® 2000 Professional [推奨] Windows® NT Workstation 4.0
【必須ソフトウェア】	
監視サーバ	Webサーバ用として、以下のいずれかの製品が必要です。 Sun ONE Web Server Enterprise Edition 6.0以降 Apache 1.3.x / 2.0.x Interstage Application Server Enterprise Edition 4.x / 5.x / 6.x (注3)
監視クライアント	サポートするWebブラウザは以下のとおりです。(注1) Internet Explorer 5.5 SP2 / 6.0以降 Netscape Navigator 6.2x / 7.1

(注1) WebブラウザにはJava Plug-inの組み込みが必要です。(Java Plug-in 1.4.1_03以降 / 1.4.2.x) Java Plug-inは、Sunサイトよりダウンロードしてください。
(注2) Windows® NT Server 4.0の場合はVer4.0が必要です。
Windows® 2000 Serverの場合はVer5.0が必要です。
Windows® Server 2003の場合はVer6.0が必要です。
(注3) クラスタ環境の場合に必要です。

Cisco製品をきめ細かく管理 CiscoWorks LAN Management Solution

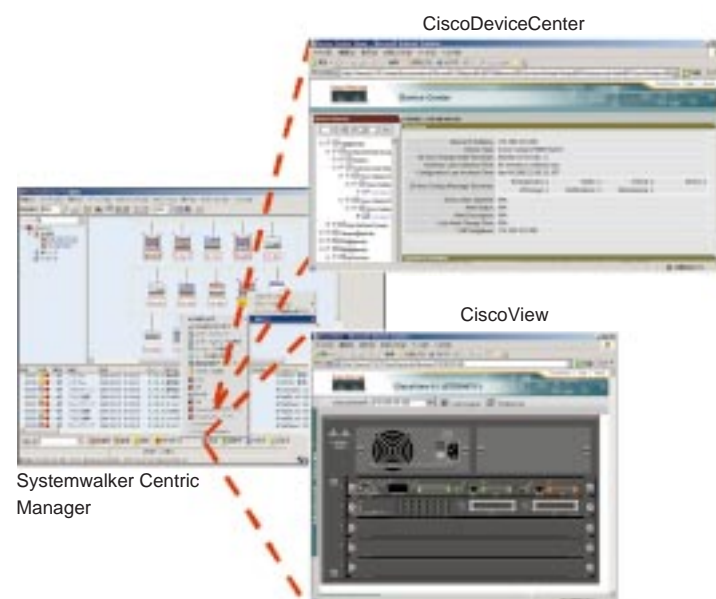
製品情報 : <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/ciscoworks/index.html>

CiscoWorks LAN Management Solutionは、Cisco製品を管理する製品です。Cisco製品(ルータやスイッチ)で構成されたネットワークのトポロジーマップ表示、ATM、VLAN設定など、ネットワーク管理に必要な機能を備えたアプリケーションです。

富士通では、統合運用管理製品Systemwalkerのパートナー製品として、Systemwalker Centric Managerとの連携ソリューションを提供しています。両製品のスムーズな連携により、ネットワークからCisco製品まで一元的な集中監視が可能となります。

Cisco製品をシームレスに管理

Systemwalker Centric Managerの監視画面から装置ビューを呼び出し、装置やインターフェースの状態をグラフィカルに把握できます。ネットワークトラブルの一次切りわけから特定のCisco製品にフォーカスした障害の原因究明と対処が、一貫した操作で行えます。



Systemwalker Centric Manager

Cisco Device Center

CiscoView

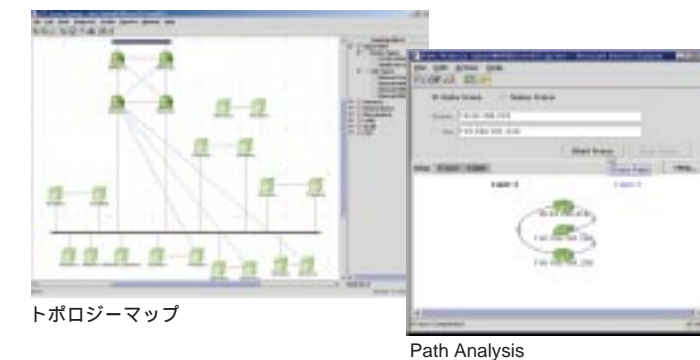
Cisco製品を集中管理

CiscoWorksからの通知やCisco製品からのアラームは、Systemwalker Centric Managerの監視画面に日本語に変換して表示されるので、内容が容易に把握できます。

Systemwalker Centric Managerとの連携ツールを、Systemwalker技術情報ホームページにて提供しています。

Ciscoスイッチングネットワークの構成管理

Cisco独自のプロトコルであるCDP (Cisco Discovery Protocol) を使用して、VLAN (Virtual LAN) やATMの管理、Cisco製品によるスイッチングネットワークのトポロジーを検知しグラフィカルに表示します。また、レイヤー2、レイヤー3のトレース情報を表示することができます。

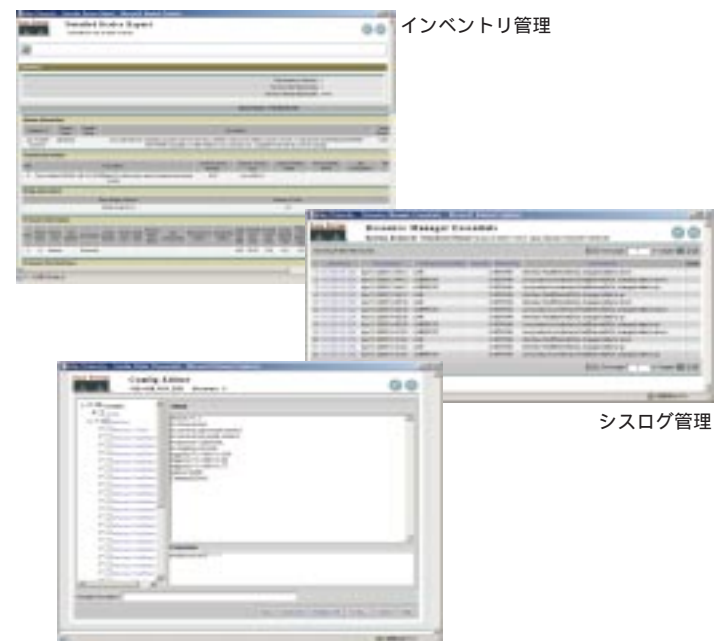


トポロジーマップ

Path Analysis

Cisco製品情報レポート

Cisco製品のハードウェアからIOSソフトウェアなどのインベントリ情報を一元的に収集し、コンフィグレーションの変更履歴やIOSソフトウェアのアップデート履歴をレポート出力します。また、Cisco製品のシスログを収集し、ユーザー定義に従った分類レポート出力ができます。



インベントリ管理

シスログ管理

コンフィグ管理

Cisco製品の障害監視

Cisco製品やネットワークからのSNMP Trapや定期的なポーリングにより、各装置が保持する性能データや装置自身の状態データを採取します。採取したデータは、閾値と比較して、機器やネットワークの障害分析を行います。分析により診断された障害は、その内容や機器種別などに応じて分類されアラームとして表示されます。

動作環境

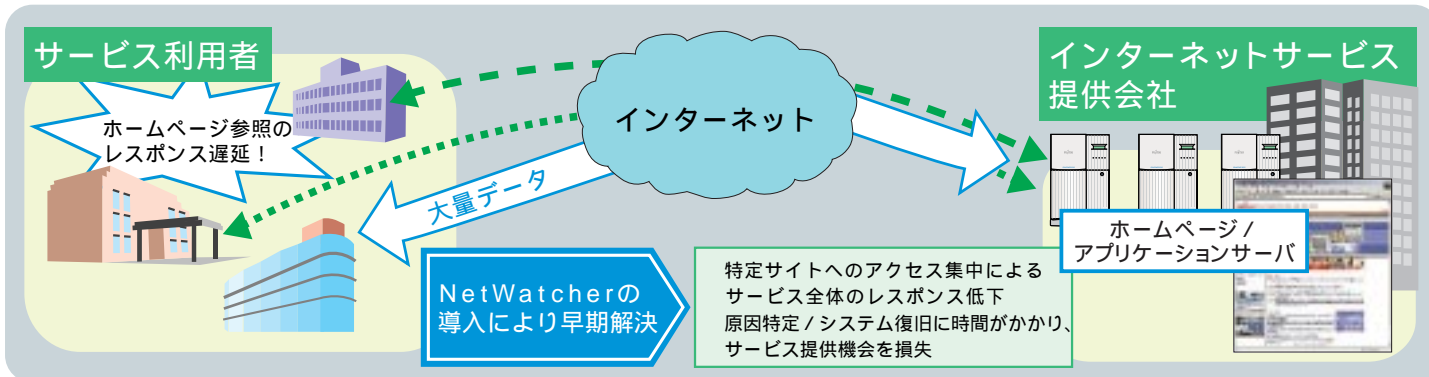
【OS】	
監視サーバ	Windows® 2000 Server, Advanced Server, Professional SP4(注1, 2, 3) Windows® Server 2003 Standard Edition, Enterprise Edition
監視クライアント	Windows® 2000 Server Professional SP3, SP4 Windows® XP Professional SP1, 2
【必須ソフトウェア】	
監視サーバ	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1(注4, 5)または Netscape Navigator 7.1(注4)
監視クライアント	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1(注4, 5)または Netscape Navigator 7.1(注4)

注1: FATファイルシステムにはインストールできません。
注2: OSインストール時にODBCドライバ(3.510以降)を組み込んでください。
注3: Windows® 2000 Advanced Serverの場合、Windows® Terminal Servicesには対応していません。
注4: Java Plug-in 1.4.2_06をインストールしてください。
注5: Microsoft Virtual Machine(JavaVM) 5.0.0.3802以降を組み込んでください。

ネットワークパフォーマンスの計測・監視システム GeoStream NetWatcher

GeoStream NetWatcherは、ネットワークのパフォーマンスをリアルタイムに計測・監視するシステムです。ホームページごとの使用帯域幅、アクセス状況などをリアルタイムに通知する機能を追加し、ホームページのサービス監視機能を強化しました。レポート機能で、ホームページのサービス状況を一定期間のレポートとして出力させることが可能なため、ホームページごとの傾向を把握し、アクセス状況の分析に役立たせることができます。パッシブ・モニタリング方式*を採用しているため、ネットワークに負荷をかけることなく、既存ネットワークへの導入が可能です。

*パッシブ・モニタリング方式：ネットワークを通過するパケットを採取してトラフィックタイムを記録し、ネットワーク状況を分析する方法。装置からテストパケットを送受信してタイムを記録するアクティブ・モニタリング方式に比べ、ネットワークに負荷をかけずに計測・分析を行うことが可能。



リアルタイムに、ホームページごとの参照状況を把握

ホームページごとの帯域幅、参照回数や転送バイト数などの情報から、ホームページの参照状況を監視し、大量データのダウンロードを行っているホームページの有無などをリアルタイムに把握し、状況に応じた対策を迅速に行えます。例えば、大量データをダウンロード中のホームページがあれば、制御装置で帯域幅を絞るなどの対策が可能です。

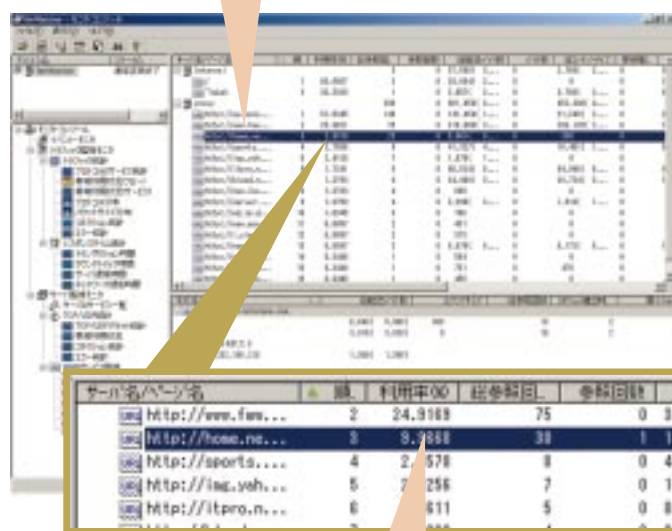
ホームページの許容応答時間の遵守率から、レスポンス遅延発生時の監視を自動化

ホームページごとに、サーバ応答時間のしきい値(目標値)と遵守率を二段階(危険、警告)に設定し、遵守率超過を監視し、超過時には、イベントモニターやE-mailなどで管理者に通知することが可能です。管理者は、ホームページ参照でのレスポンス遅延の発生警報を自動監視させることで、早期対策が行え、遅延発生時の抑制が可能です。

指定した期間の統計情報から時、日、週、月単位でのホームページ参照の状況を把握

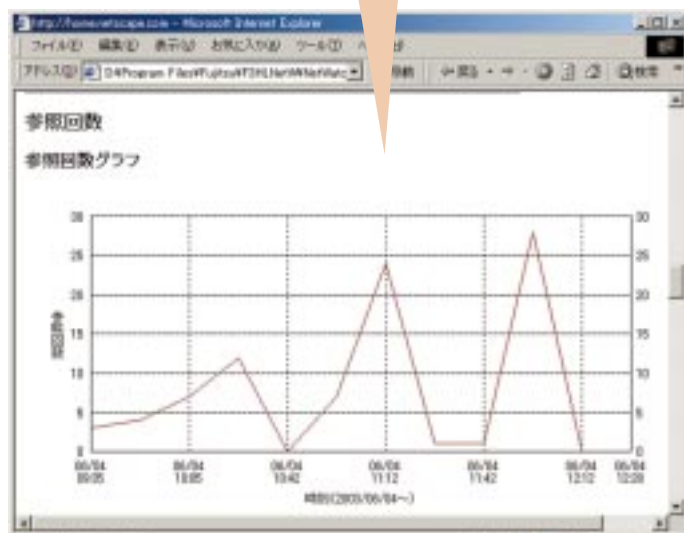
ホームページごとに測定した統計情報は、一定間隔で専用データベースに保存され、期間を指定してレポート出力が行えますので、時単位、日単位、週単位、月単位でのホームページの参照状況などを把握し、システムのネットワーク制御やキャパシティ・プランニングに活用し、最適なシステムの維持に役立たせることが可能です。

サーバ監視モニタ ホームページ情報の表示画面



利用率が多いホームページの順に表示(100位まで)
横軸には、順位、利用率、参照回数、転送バイト数、コンテンツサイズ、帯域幅などのホームページごとの情報を表示。

レポート機能 ホームページ参照回数のHTMLファイル出力例



製品仕様および動作環境

NetWatcher ネットワーク測定・監視システム	
システム構成	マネジメントソフトウェア(NB13001001)、センサー装置(LMP100A)
主な機能	トラフィック監視機能、レスポンス監視機能、サーバ監視機能、イベント監視機能、ポリシー・コンソール機能、モニター・コンソール機能、レポート・コンソール機能、データベース保存機能、運用支援機能
NetWatcher マネジメントソフトウェア端末仕様	
ハードウェア	PC / AT互換機(CPU: Pentium 相当 800MHz以上、メモリ: 256MB以上 ¹⁾)
ハードディスク	ソフトウェア容量: 16MB以上、データベース容量: 最小 2.5GB(4GB以上を推奨) ²⁾
LAN	10 / 100BASE-TX、TCP / IPサービスが動作していること
ディスプレイ解像度	1024 x 768ピクセル以上、65536色以上
OS	Windows2000 Professional / 2000 Server / 2000 Advanced Server(すべてService Pack2以上) Windows XP Professional
アカウント	Administrator権限

NetWatcher センサ装置仕様	
LANインターフェース	10 / 100BASE-TX x 3(パケットキャプチャ用: 2 / 管理用: 1)
シリアルインターフェース	RS-232C(D-Sub9ピン) x 2(UPS接続用 / 保守用) ³⁾
表示	LCD部(8桁 x 2行) LED部(POWER、ALARM)
RAS	ファン異常、電源異常などにより強制シャットダウン
外形寸法(W.D.H)	195 x 560 x 38mm
質量	4.3kg
消費電力	43W以下

1 管理対象のセンサー装置が1台の場合。複数のセンサー装置を管理する場合は、1台につき128MBのメモリが必要。
2 センサー装置の台数やポリシー情報の設定内容によってデータベース容量は異なります。
3 対応UPS GP5SUP103 / GP5SUP107 / GP5SUP108 / GP5-R1UP1A / GP5-R1UP4 / GP5-R1UP5、UPS接続ケーブル GP5S-613

システム構成例

